

# 第1回総合会議における主な意見と対応方針について

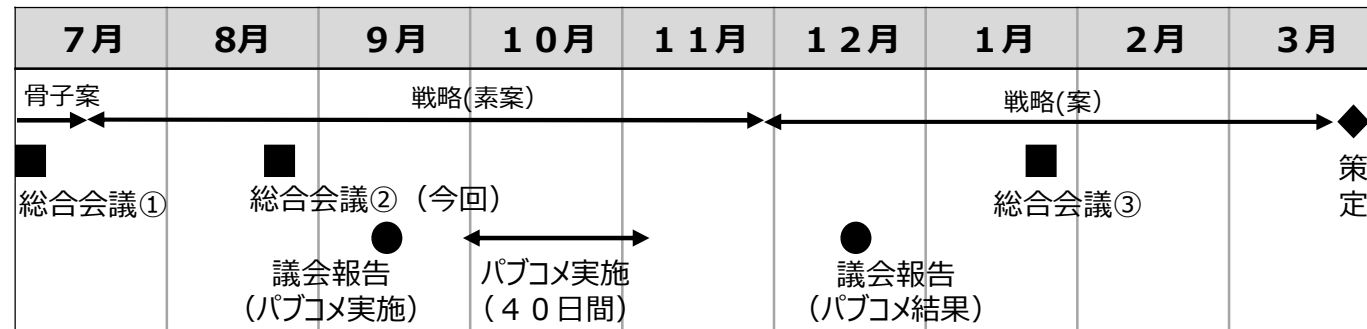
資料 1

## 1 戦略策定プロセス・意見聴取のあり方等に関するご意見

### ◆各委員からのご意見

- ・もう少し時間をかけて、会議を1, 2回程度増やすべき。
- ・現場や事業者等、様々な立場の意見を聴きながら戦略を作るべき。

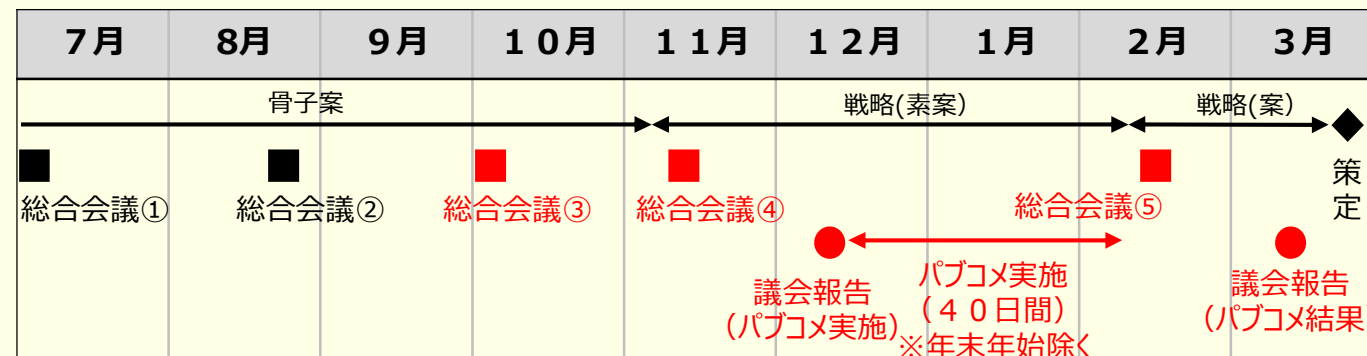
### 【当初想定スケジュール】



### ＜対応方針＞

- ① 会議回数を当初予定3回から5回へ見直し
- ② 各委員の意見や団体を通じた現場からの声を、より丁寧に聴取していくよう、パブリックコメント実施時期を含む全体の策定スケジュールを見直し

### 【見直し後スケジュール】



### ＜想定議事(第3回～)＞

- 第2回(今回) 本市観光の現状と課題に関する協議
- 第3回・第4回 戦略素案策定に向けた協議(重点ポイントに対する対応等)
- 第5回 パブリックコメントの意見等を踏まえた、戦略(案)に関する協議

## 3 戦略の考え方に関するご意見

### ◆各委員からのご意見

- ・戦略と戦術(施策)の整理が不十分であり、戦略を策定する目的や目指すべき姿を明確にすべき。
- ・内容が総花的であり、今後5年間で何に重点的に取り組むのかを明確にすべき。

### ＜対応方針＞

- ① 第3回・第4回会議において、第5期戦略において取り組むべき重点プロジェクトを中心に素案策定の協議を実施

## 4 戦略に係る成果目標に関するご意見

### ◆各委員からのご意見

- ・戦略にKPIがあること自体がおかしい。
- ・観光客数を増やすことではなく、観光関連事業者が稼ぎ、地域経済を豊かにすることを重視すべき。
- ・現状の目標設定は過去の延長線上に見えるため、本来目指すべき姿から逆算して戦略を構築すべき。
- ・経済指標だけでなく、持続可能性の観点も踏まえながら成果指標を検討すべき。

### ＜対応方針＞

- ① 第2回会議において協議された課題等を踏まえ、第3回以降の会議において対応を検討予定

## 5 個別の施策・取組に関するご意見

### ◆各委員からのご意見

- ・プロダクトアウトの視点ではなく、マーケットインの視点で、旅行者が求める情報の発信を行うべき。
- ・鹿児島県の魅力をワンストップで発信できるサイト等での情報発信を行うべき。
- ・スポーツ合宿等の誘致などを通じて、観光需要の平準化を図るべき。
- ・観光客や現場のガイドやスタッフなどの声を吸い上げる施策を実施するべき。
- ・駅や電停等における案内表示の充実など、利用者目線での受入環境整備が必要
- ・旅行先選定に大きな影響を与える動画コンテンツ等を活用した情報発信を充実すべき。
- ・クルーズ船受入等による効果を県下全域に広げるための目線を、鹿児島市には持ってほしい。等

### ＜対応方針＞

- ① 第2回会議において協議された課題等を整理し、第3回以降の会議において対応を検討予定

## 2 戦略策定にあたっての現状分析・課題認識に関するご意見

### ◆各委員からのご意見

- ・本市観光を取り巻く現状に対する危機感が不足している。

### ＜対応方針＞

- ① 各委員への意見照会を実施し、本市観光を取り巻く現状等に関する各委員の意見を改めて集約
- ② 意見等を踏まえ、第2回総合会議において本市観光を取り巻く現状や課題についての協議を実施(本会「次第3」)